



ボーイスカウト西湘地区  
総務委員会(広報)  
第 8 号  
2021年10月発行

# スカウティング西湘

## 西湘地区第1号 富士スカウト 誕生

秦野第2団 酒井康佑スカウト



こんにちは、秦野第2団ベンチャー隊の酒井康佑です。

富士章挑戦にあたって感じたことなどを書いていきます。

まず、1番大変だったことは計画です。

1人での活動が中心だったので、自分の能力と相談して無理のない計画にしつつも楽しめるような実のあるプログラムを組むのが難しかったです。

1番楽しかったことは自転車章で100kmサイクリングをしたことです。

秦野から真鶴まで1泊かけて行ってきたのですが、海風が心地よく、昼食に食べた刺身定食はとても美味しかったです。野営地では小田原の団と交流することができました。

また、富士章は特別難しい挑戦ではありません。

自分は1年半かかりましたが、楽しいプログラムも多く、充実した期間でした。

やることは多いですが、課題と思わず、成長を感じながらどんどん挑戦してください！

最後になりますが、隊長をはじめ富士章挑戦にあたって支援していただいた全ての方々に感謝申し上げます。





秦野第2団 ベンチャー隊 隊長 増水 淳



秦野第2団発団以来、初めての富士スカウトが誕生しました。

富士章に進級をしたのはベンチャー隊のムードメーカー酒井康佑スカウトです。

一昨年の12月に準に進級し、昨年の年度当初よりのコロナ感染拡大に伴う、活動自粛中での富士章挑戦でしたが、いろいろな制約のある中での活動でしたので、進級課目を一年間の計画で作成して、家で仕上げるものと、活動でなければ仕上げる事が出来な

いものと準備し、挑戦を進めてきました。

本人の努力はもとより、団内のリーダーの支援をいただき、保護者の方に背中を押していただいた結果の進級でした。今後ローバー隊に上進しますが、富士章の進級で身につけた奉仕の精神と、社会の一員としての責任を持って、社会貢献の出来る人になって欲しいと期待しています。

秦野第2団 カブ隊 副長 酒井健二(父)

勉強や部活などとの時間のやり繰りに苦労したことは言うまでもなく、それぞれのモチベーションをコントロールするのがたいへんだったと思います。

教科書を開いた脇でPCを立ち上げて茫然自失している姿をしばしば見かけました。

やり遂げたことを自信にして欲しいです。





## 第42回青少年作品展・主張コンクール

ボーイスカウト・ガールスカウト・子ども会等の仲間たちが参加する青少年作品展・主張コンクール(主催:(公財)神奈川県青少年少女育成指導協会)も今年で42回目を迎えます。

長い夏休みや週末の活動を利用して、絵画に・書道に・工作に、そして自分の考えを発表する「主張コンクール」参加のための作文に自己表現の発表の場として西湘地区のスカウトたちが参加しました。

作品は、スカウト会館にて、2021年10月10日(日)～10月16日(土)まで(午前10時～午後4時)展示されます。



- |            |                        |
|------------|------------------------|
| 県知事賞       | (書道) 平塚第4団カブ隊 齊藤夏希さん   |
| 県商工会連合会会頭賞 | (作文) 平塚第5団カブ隊 西村 隼さん   |
|            | (書道) 平塚第4団カブ隊 佐藤瑠莉さん   |
|            | (工作) 平塚第4団カブ隊 荒川湊翔さん   |
| 秀作受賞者      | (工作) 平塚第4団カブ隊 山本海音さん   |
|            | (工作) 平塚第4団ビーバー隊 田島陽太さん |





## 2021 上半期

# 新型コロナ禍でのスカウティング・活動紹介

### 『青空レストラン』

大井第1団

5月30日、新緑の清々しい季節、晴天に恵まれた青空の下、大井小学校横の大井第1団野営場にて、災害時の自炊に応用できるちょっと変わったカレーライスを作りました。(BVS,CS,BS 合同集会より)

主役はご飯です。ジュースなどが入っていたアルミ缶を用いた炊飯にチャレンジしました。

アルミ缶は一人1個ずつ用意。350mlのアルミ缶の飲み口がある上面を缶切りで切り取り、無洗米半合と水120gを自分で計って缶に入れアルミホイルで蓋をします。

30分寝かせたのちに、カマドに乗せて20分間火をいれ、カマドから降ろしひっくり返してアルミホイル側を下に置き5分蒸らして完成です。





ボーイスカウト西湘地区  
総務委員会(広報)  
第 8 号  
2021年10月発行

各自スプーンで缶からご飯をお皿にこそぎだしました。  
カマドに置いた位置で当たり外れ(おこげ多め)がありました  
が、しっかり炊けています。



カレーはボーイ隊が作りました。常温保存可能な缶詰のウ  
インナーと大豆の水煮を用いたカレーです。  
食中毒の心配もありません。



なんと、誰一人残さず完食です。  
やっぱり自分たちで作るご飯は格別ですね。





## 『上半期の活動』

## 小田原第2団

上半期の活動は、4月11日の上進・入隊・上進の式から始まりました。

例年はファミリーデイ(野草パーティ)と団総会も抱き合わせで行っていますが、コロナ禍のため式だけキャンプ場で実施し、その後は各隊プログラムと保護者との短い懇談で終了しました。

活動開始後は、隊ごとに月2回ペースでプログラムを展開しましたが、緊急事態宣言後に夏の行事は残念ながらすべておうちスカウティングに切り替えました。今回は各隊で実施した攻めのスカウティング!(あくまでも個人の感想です)を紹介したいと思います。



### 5月30日(日) 水辺の学校(磯遊び) 真鶴(三石海岸) BVS・CS

磯遊びで海の生き物に関心を持ち、海などの自然環境について考える機会とすることを目的に実施しました。指導者から危険な生物等のレクチャーの後、スカウトは時間を忘れて生物の捕獲に夢中でした。コロナ禍のため、家族単位に車で集合してもらい、昼食を取って解散しました。事故、怪我等なく楽しく実施できました。帰りには難民支援プロジェクトのために持ち寄ってもらった衣類をスカウトの代表でユニクロに届け、結果を団で共有しました。



### 6月27日(日) 隊集会(シカの解体) 午前集会場・午後解体場 BS

スカウトから鳥の解体がしたいという要望があり、どうせやるなら鹿はどうかと提案したところやってみてほしいという反応があり、団委員長が所属する有害鳥獣駆除のグループ「イノシカネット」の協力で実現しました。午前は団集会場で指導者からなぜシカを駆除しないといけないのか、命について、「いただきます」の意味等をレクチャーし、午後から解体場に移動しました。





初めにイノシカネット会長から、なぜシカやイノシシを駆除するのかというお話と「くくりわな」の構造についてレクチャーしていただきました。

当初は解体で「おおばらし」して冷凍してある肉を前日解凍して実施する予定でしたが、当日40キロのメスジカ(もれなくアナグマ付き)が捕獲できたため、会長のご厚意で急遽一から解体を実施しました。スカウトはドン引きするかと思いきや、驚きながらも何とか頑張って最後までやり切り、精肉したものを各自持ち帰りました。



**7月4日(日)夜の隊集会 団集会場 BVS・CS**

七夕にちなみ、夜の星空観察を目的に各隊は夕方に集合し、BVSは「ぴかりんライト」作り、CSは夕食の「ジビエカレー」(6月27日にBSが解体したシカ肉)作りを実施しました。天気は残念ながら雨!夜のプログラムは合同で「ぴかりんシアター」を楽しみました。BVSが作ったぴかりんライトで遊んだ後、指導者渾身の七夕にちなんだ影絵を実施しました。





## 『段取り 8分・キャンプ 2分』

秦野第1団

### 命徳寺鬼子母神広場<プレキャンプ>

7月23日(金)~25日(日)

昨年8月に5ヶ月遅れで3名が上進し、今年5月に6名がまた上進し、中3生不在の、中2生1名を含めた10人全員が初級スカウトの我々ボーイ隊。

実はまだ、ハイキングすら1度も実施出来ていない中での夏季野営の計画となりました。

しかも自泊・自炊。どこまで出来るか「やってみよう!」ということで、7月23日(金)~25日(日)の2泊3日で、プレキャンプを実施致しました。



自泊はソロテントに入って寝てしまえば良いとしても、「自炊は・・・?」。一度も経験のない小6スカウト6名は、「刃物の取り扱い」から始まり、ベンチャー隊の支援を受けて、「薪割り」「火起こし」と、参加者9名全員が、合計5回の煮炊きを行うことができました。

また、6名の女子スカウトの活動報告には、毎日「お風呂に入りたい」と書かれておりました。

「んーんい」

### 白笹の森野営場

8月2日(月)

午前7時「明日からの夏季野営は予定通り開催致しますが、日帰りでの実施と致します・・・」。保護者向けにLINEを配信する。毎日の日程は以下の通り。

9時:集合、9時10分:朝礼、9時30分:プログラム1、11時:個人炊事、14時:プログラム2、16時:班会議、16時45分:夕礼、17時:解散。







### 8月3日(火)第1日目

朝礼で団委員長より「昨日、緊急事態宣言が発出された中での夏季野営となります。

コロナウイルス感染防止と、熱中症警戒に充分注意をして、このコロナ過でも参加をして良かったと思いに残るキャンプを実施してください」。

こうして0泊6日の「夏季野営」が始まる。班サイトの設営は「プレキャンプ」で実践済みの為順調であったが、11時に焚火台の準備から始まった昼食の後片付けが終わったのは、午後3時。残り1時間で個人テントも張り終わり、結果計画通りで解散する。



### 8月4日(水)第2日目

今回の一大プログラムは、「信号塔の製作」にある。5月に実施した「リクエスト隊集会」でコヨーテ班が立案したもので、「夏のキャンプまでに手旗を覚え、信号塔の上でキツネ班と交信するのを場長さんに見せよう！」と言う計画である。

初級スカウト10名には無謀かとも思うが、班集会で模型を製作し、縛材も新調し、準備万全であるが、アクティビティタイムの短さより断念し、「立ちかまどの製作」に切り替える。猛暑の中、作業時間も休憩時間の方が遥かに長い、それも熱中症予防か？

午後3時、用意した丸太で「ティンバーズリレー」を実施し、キツネ班が勝利する。





### 8月5日(木)第3日目

今年の「隊野営」は、元々は2年の1度の「団キャンポリー」への参加であるが、6月の団会議に於いて早々に中止を決定。同日程での開催としたことから、平日の隊指導者の参加は私1名となる。

6名の団委員とベンチャー隊にも協力を頂き、開催できる運びとなる。昨日から続いた「立ちかまど」は午前中で完成したので、午後は「炊具用の乾燥棚」を班対抗で追加する。

キツネ班80点、コヨーテ班75点で、キツネ班が勝利する。昨日までの飯盒炊飯に替わり、今日のランチはスパゲッティ。スカウトらより「麺が硬い」と来たので、「茹で時間の問題でしょ！」と返す。

午後9時に団委員より携帯電話。「台風10号の接近に伴い、1日短縮して7日(土)午前中で撤収したらどうでしょうか?」「承知しました」。



### 8月6日(金)第4日目

朝礼にて「台風の接近上陸に備え、明日午前中で撤収します。本日午後より撤営準備に入ります」とスカウトらに告げる。

「米1合の水は、どれくらいですか?」「ん?」咄嗟に「350mlでやってみよう!」と答えるが、竹蓋を深く割り過ぎた竹筒からは、水が溢れてしまう。(後に自宅で検証した結果は250ml)。

今日の昼食は空き缶コンロでの炊飯、明日は竹筒での炊飯を予定しているが、空き缶を湯沸かしに変更する。それでも今日の昼食時間は、2時間30分で終わっている。洗い物が無いからか?外を向いて食事をするスカウトらは、一見仲が悪そうに見えるが、重要な感染対策の徹底である。



### 8月7日(土)最終日

朝礼後、神社に参拝をし、スカウトズタウン・サービスの感話を宮司にお願いする。

「お稻荷さん」は稲作・農業の神様で、「稲が成りますように」という「稲成り」から「いなり」となったそう。





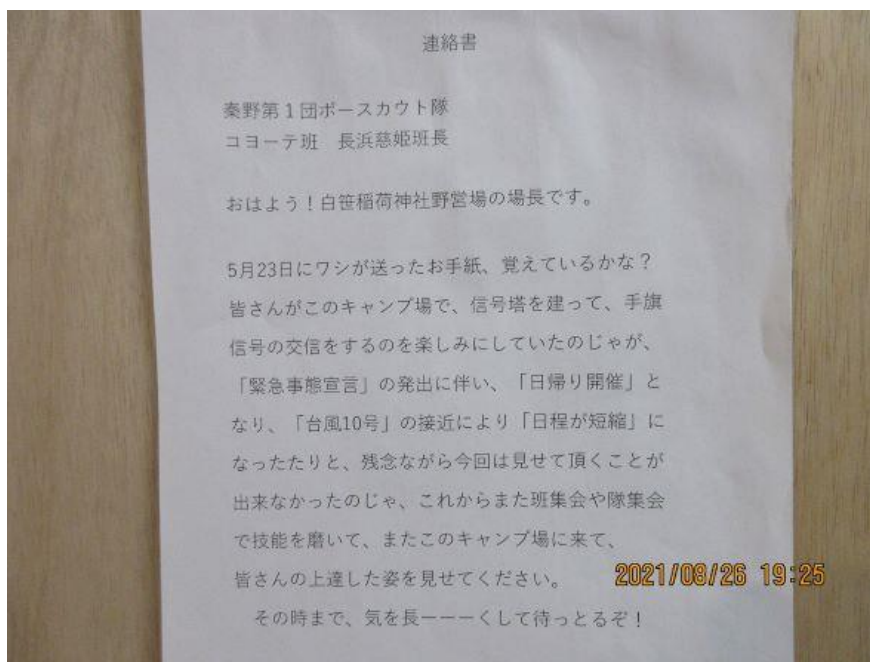
また「キツネ」は「神様のお使い」であって「神様」ではないそう。知っていました？

今日もご飯を頂くことができることに感謝。

午前10時、積み込み作業の為着替えの指示をすると、作業着を持って来ていないとのこと。

聴けば隊長からの保護者向けのLINEに作業着が書かれていないとのこと。早速読み返してみると確かに！女子スカウトらと険悪なムードが漂う中、雨がポツポツと…。作業着は両具に替わり、無事作業は開始される。11時45分、本降りとなり、参集殿をお借りし、最後の昼礼。

今回の優秀班はキツネ班が表彰される。



自隊の今年度の「夏季野営」の開催に当たり、地区委員長・コミッショナーを始め、スキルアップ研究会開設の指導者養成委員会・講師陣営他、多くの地区関係者のご支援とご協力により、滞りなく実施する事が出来ましたこととお礼申し上げます。

今回のスカウトらの進歩は、「2級進級課目3 スカウト技能 2-2 と 2-3」と「9,スカウトソング章(1)と(3)」の修得です。

私の成長は、「状況を正しく把握し、自身で最終決断をすることができる」ことです。

ありがとうございました。(BS 隊 隊長)





## 『夏期集中隊集会「通学型合宿」』

平塚第7団

平塚第7団ローバー隊ではコロナ禍が続く中、対面活動が大学より抑制が続き、野外活動はおろか、室内ミーティングも実施することが出来ませんでした。

4月には新入隊員を迎えることが出来ましたが、対面での隊集会を実施することができず、仮入隊式、入隊式という重要なセレモニーを実施することが出来ませんでした。

2021年夏、これまでと同様に学外での活動、宿泊を伴う活動は一切禁止されましたが、学内での日中の活動は十分なコロナ対策を条件に実施することが許可されたことを受け、集中的な連続隊集会を「通学型合宿」と名を打ち、2週間に渡って実施しました。

隊集会は、ロープワーク、読図、野帳、計測など、基礎的な技能の訓練のほか、昼食では発熱剤を使用した保存食料理を実践するなど、年間テーマである「防災」についての検討を行いました。

また、対面での活動が不可能なスカウトもオンラインで参加し、隊長講話などの勉強会を実施しました。



中日には2年間実施することが出来なかった入隊式と新入生の仮入隊式を実施し、併せて2名の宗教章授与式を行うことが出来ました。

コロナ禍が収束しない状況では活動の実施に大きな支障が生じていますが、オンラインでの隊集会などを活用しプログラムの実施を継続していく予定です。





## 2021 西湘地区重点目標

団・隊の人材確保と育成に取り組もう！

団委員、男女の隊指導者など団の維持・運営には人材確保と育成が必要です。そのためには、多くの方にこの運動を理解してもらう必要があります。ローバースカウトも指導者も保護者も全員 BS 講習会、SFH の受講に取り組みましょう。活動に参加する人は安全担当者講習会にも参加するように取り組みましょう。

プログラムのプロセスをしっかりとやろう！ （継続）

CS は組集会、BS は班長訓練や班会議など各隊において、特有のプログラムプロセスがあります。各団においていろいろな状況や事情があるでしょうが、できることはあるはずです。現状よりも一貫教育としてのプログラムプロセスを意識して各隊の運営をしましょう。団の支援も標準を目指しましょう。

スカウトと自分のために研鑽に取り組もう！

団指導者・隊指導者はそれぞれの役目において、その責務を果たすために日々の研鑽が求められています。研修所、実習所、地区内の研修、ボーイスカウト以外の団体でも構いません。自身の「そなえよつねに」の実践として、必要な研鑽に取り組みましょう。それがスカウトのためであり、自分のためになります。

各団スカウトスカウト数を 1 名増やそう！ （継続）

各団において、スカウト1名の増加を目指しましょう。これは、入団、中途退団、上進と団全体で取り組まなければ実現できません。1名増員という数字の実現は簡単ではないことは想像に難くありません。1名の増加のためにできることを団としての体制を構築し、実践しましょう。





## 2021 下半期の主な行事

- ジャンボリー・オン・ジ・インターネット 2021(JOTI2021)  
国際委員会 10/15~17日
- 安全担当者研修会 健康安全委員会 10/17
- 県連臨時総会事前説明会 神奈川県連 10/23-24
- BS ラリー「パトロール&スキル」 野行委員会 11/3
- 県連 RS 秋の集い (1泊野営) 神奈川県連 11/13~14
- ボーイスカウト講習会 指導者養成委員会 11/14
- WB 研修所、実修所課題説明会 指導者養成委員会 11/20
- 県連臨時総会(書面総会) 神奈川県連 11/28

ご注意:

2021 下半期の行事予定は変更が多く見込まれます、12 月以降の行事は事務局からの個別の連絡をご覧いただき、確認の上参加するようにしてください。





## 編集後記

西湘地区で初めての富士スカウトが誕生！おめでとうございます。

酒井スカウトの努力は勿論のこと、秦野第2団の増水隊長をはじめ団関係者のご協力とご家庭のご支援があったからこそその富士章取得だったのですね。

コロナ禍で、計画していた行事が中止に追い込まれてしまう厳しい事態が続いていますが、そんな状況でも、各団がすばらしい活動をスカウトに提供されていることを広報誌でお伝えいたします。

今回もご多忙の中各団から原稿や写真をご提供いただきありがとうございました。

引き続きご支援ご協力よろしくお願いたします。

西湘地区のホームページとFacebookもご覧ください。

ホームページ URL : <http://seisyobs.s72.coreserver.jp/>

Facebook URL : <https://www.facebook.com/groups/1660764967266902/>

スカウティング西湘 発行No第8号 発行月:2021年10月

発行者:ボーイスカウト西湘地区委員長 脇本保則

編集担当:総務委員会(広報)

前島正彰 小川弘子 石田英樹 小野寺 均(HP) 勝亦 悟

